



高等部（タッチ部門）の就職を希望する生徒に関しては、会社訪問や職場実習を行う時期です。既に、専攻科2年生で採用に向けての実習が決まっている生徒もいます。選考試験に向けて大切な実習になります。今もっている力を発揮して、頑張ってもらいたいと思っています。

進路・キャリア支援部としては、希望する進路の実現のためにサポートをしていきます。そのためには、学校と家庭との連携は不可欠になります。進路で不安に思っていることがあれば、各学部の進路担当まで御連絡いただければ幸いです。

高等部進路諸検査実施（タッチ部門）

高等部は4月に、高2、高3、専2を対象とした進路諸検査を実施しました。生徒の自己認識を深め、進路の方向性を定める際の検討材料として活用する目的で実施しています。

高2では、内田クレペリン検査を行いました。この検査は、能力面の特徴（作業能率や作業のペース）と性格・行動面の特徴（仕事や作業をするときに発揮される持ち味やくせ）から「働きぶり」を測定します。日常の行動観察だけでは把握しにくい生徒の潜在的な特徴が分かるので、生徒指導、進路指導、教育相談など様々な場面で活用することができます。進路指導においては、将来の自分に合った職種選択の参考になります。

高3と専2は、新卒採用試験で企業の多くが取り入れている、SPI（高3はSPI入門、専2はSPI基礎）検査を行いました。この検査は、言語（国語領域）、非言語（数学、論理的思考領域）の基礎能力を測る検査になっています。卒業学年として、進路選択に向けた活動の参考にできるように実施をしています。SPIの問題は、全て高校前半までの基礎学力がしっかり身に付いていれば解ける問題です。ただ、SPIは独特の出題形式になっています。事前対策の有無で結果が違ってきます。事前対策をし、いかに効率よく試験時間内で解いていくかがカギとなります。そのため高3は、SPI入門で無理のないレベルからスタートし、初めて触れる生徒にも学習継続の自信や動機付けを目的に実施しました。また、専2のSPI基礎は、出題傾向を踏まえての基礎固めを目的として実施しました。

検査結果は各担任に届きます。検査結果を自分でしっかり確認し、課題を学校や家族と確認した上で、自らの将来の進路について考えていきましょう。

高1と専1は2学期に実施予定です。内容は、高1が職業適性検査、専1がSPI入門の予定です。



小6・中3全国学力・学習状況調査実施（タッチ部門）

4月17日に小6と中3が全国学力・学習状況調査を行いました。これは、文部科学省が日本全国の小中学校の最高学年全員を対象として、学力・学習状況の調査を目的として行うものです。試験は国語、算数（数学）、理科の3教科でした。（中学部の理科は初めてタブレット端末を活用してオンラインで出題・解答する方式（CBT方式）で行われました。）結果は各教科とも領域別に数値化やグラフ化され、全国の小6、中3の学力との比較ができます。出題範囲は、調査対象学年の前学年までの指導内容を原則としています。出題内容は、それぞれの学年・教科において、①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活に不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等とされています。今まで学習した内容が出題されるのですが、基本的に文章問題での出題のため、問題文を読み取る力も必要となります。これまでの学習で「分かった」と思っている、様々な問題形式や応用問題でも解けるようにならなければ、高い得点は取れません。授業で基本的な内容をきちんと理解することに加え、様々な問題形式や応用問題に挑戦していくことも大切となっていきます。これから、解説資料を参考に、児童生徒一人一人に応じた指導の改善・充実を図っていきたいと考えています。

在学中に身に付けておきたい事

企業の人事担当者様からのお話です。在校中に身に付けてほしいと思っている、代表的な3つの力を挙げます。年齢に関係なく、必ず身に付けなければいけないことだと思います。今現在、身に付いているのかどうか、再確認するきっかけになれば幸いです。

【基本的な生活習慣】

規則正しい生活リズムは、全ての生活の基礎になります。特に、睡眠時間と3食きちんと食べることは大切になります。また、自分で起きることができるようにもしていきましょう。

【身だしなみ】

人の印象は1～2秒で決まるとも言われています。寝ぐせのまま登校する生徒も時々います。見た目はとても大切になります。小さい時から鏡を見て、身だしなみを整える習慣を身に付けましょう。

【挨拶と言葉遣い】

小学生に比べると、中高生は挨拶が減ってしまう傾向があります。挨拶はコミュニケーションの基本になります。社会に出て仕事する上でも挨拶ができることは大切です。「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」は、自分から言えるようにしていきましょう。

